

# 川越町の子どもたちの学力向上に向けて

～全国学力・学習状況調査の結果報告～

平成26年10月

川越町教育委員会

本年4月、小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要をお伝えします。川越町教育委員会では、結果からわかる、子どもたちの「強み」「弱み」等の傾向をとらえ、具体的な施策に反映していきます。つきましては、保護者の皆様には、家庭生活や生活習慣の見直しに向けてご協力をお願いいたします。

なお、この調査は学力の特定の一部分を測るものであり、学力のすべてを測るものではないことをご理解ください。

## 1. 学力・学習状況調査結果



### 全国学力・学習状況調査について

A問題とは、主として「知識」に関する問題です。(身につけておくべき基礎的な知識や技術)

B問題とは、主として「活用」に関する問題です。(知識や技能を実生活の場に活用する能力)

### (1) 川越町小学校

全体の傾向

**国語 A** : 正答率のやや低い児童が多い。

**国語 B** : 正答率の低い児童が多い。

**算数 A** : 正答率のやや低い児童が多い。

**算数 B** : 正答率の低い児童が多い。

強みと弱み

	A問題	B問題
国語	<ul style="list-style-type: none"><li>○新聞の投書について、書き手の意図をふまえて、内容や表現の仕方を捉えることは達成できている。</li><li>▲漢字を書く問題については、無解答の児童が多い傾向がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>▲全体的に無解答の児童が多い傾向がある。</li><li>▲決められた字数内で条件に沿った文章を書く問題に取り組めない児童が多い。</li><li>▲わかったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことが達成できていない。</li></ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"><li>○全体的に無解答率が低く、どの子もよく取り組んでいる。</li><li>○基本的な計算問題はほぼ達成できている。</li><li>▲単位量あたりの大きさを求める問題については達成できていない。</li><li>▲図形の約束や性質を問われる問題が達成できていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○実生活に関連した問題については、どの子もよく取り組んでいる。</li><li>▲示された情報を基に、整理して考える力に課題がある。</li><li>▲解答を導き出した筋道等を文章で説明する問題は達成できていない。</li></ul>

## (2) 川越町中学校

□全体の傾向

**国語 A** : 正答率のやや低い生徒が、多い。

**国語 B** : 正答率の低い生徒が、多い。

**数学 A** : 正答率のやや低い生徒が、多い。

**数学 B** : 正答率の低い生徒が、多い。

□強みと弱み

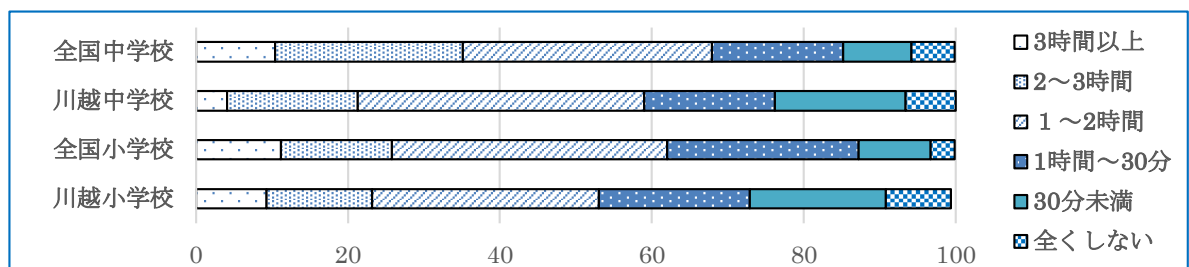
	A問題	B問題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を効果的に活用して話したり、分類して整理したりすることは達成できている。</li> <li>○登場人物の心情などを読み取ることが到達できている。</li> <li>▲文脈に即して漢字を正しく書くことができていない。</li> <li>▲辞書を活用して語句の適切な意味を選ぶことができていない。</li> <li>▲目的に沿って話したり、互いの発言を比較したりすることができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○複数の資料を比較して読み、要旨をとらえることは到達できている。</li> <li>▲決められた字数内で条件に沿った文章を書く問題に取り組めない生徒が多い。</li> <li>▲根拠を明確にして、自分の考えを書くことができていない。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な計算問題は達成できている。</li> <li>○関数において、表とグラフの関係について理解できている。</li> <li>▲与えられた数量関係を文字式で表すことができていない。</li> <li>▲図形領域については達成できていない問題が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取ることが達成できている。</li> <li>▲問題に取り組めず、無解答の生徒の割合が高い。</li> <li>▲解答を導き出した筋道等を文章で説明する問題は達成できていない。</li> </ul>

## (3) 児童生徒質問紙による生活調査結果

①学習時間帯

**\*小・中学校ともに全国平均を下回っている。**

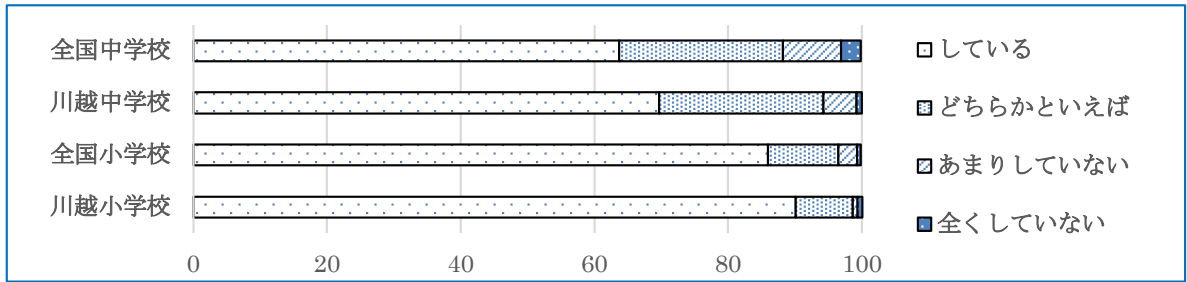
Q : 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか（学習塾や家庭教師含む）



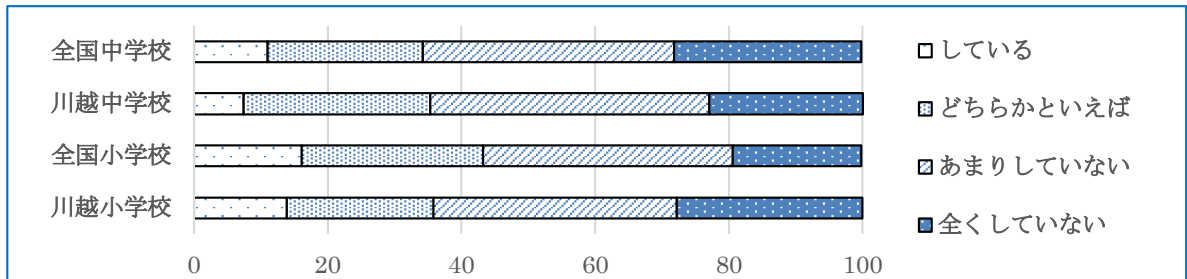
②予習・復習

**\*小・中学校ともに宿題をすることは定着しているが、予習・復習について、特に小学校は十分ではない。**

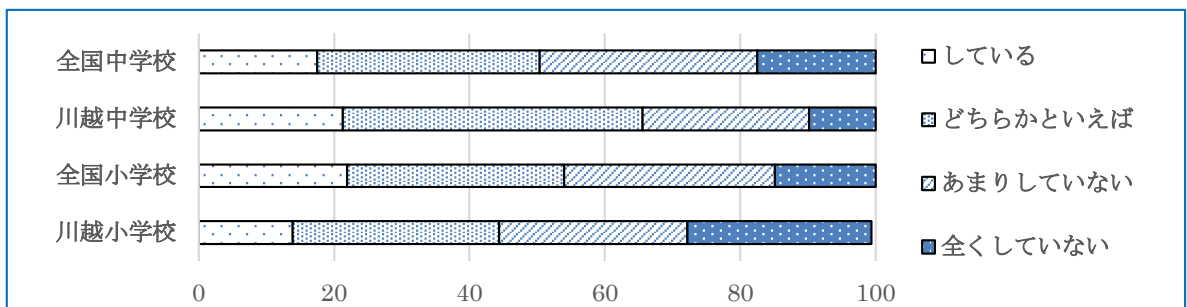
Q：家で宿題をしていますか。



Q：家で学校の授業の予習をしていますか。



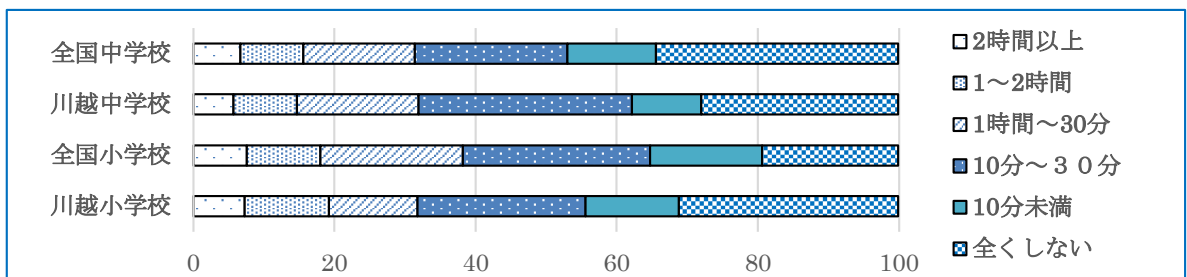
Q：家で学校の授業の復習をしていますか。



③読書習慣

**\* 中学校では、毎日の朝読タイムの設定もあり、授業以外にも十分読書を行っている。**

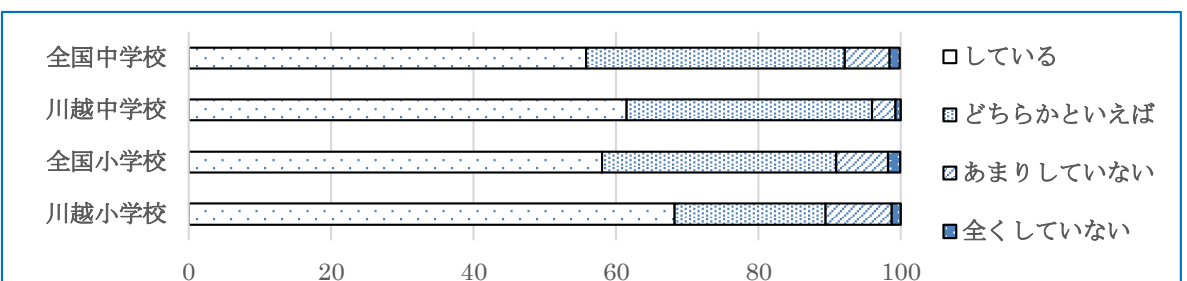
Q：学校の授業以外に、普段（月～金曜日）どのくらい読書を読みますか。



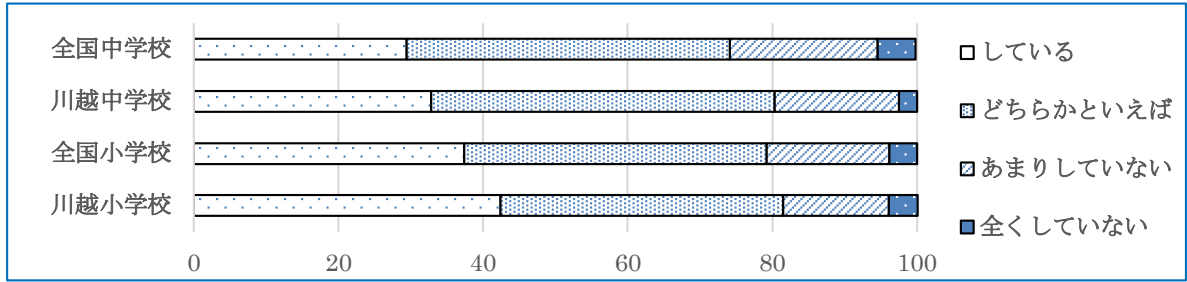
④基本的な生活習慣

**\* 小・中学校ともに、規則正しい生活ができている子が多い。**

Q：毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



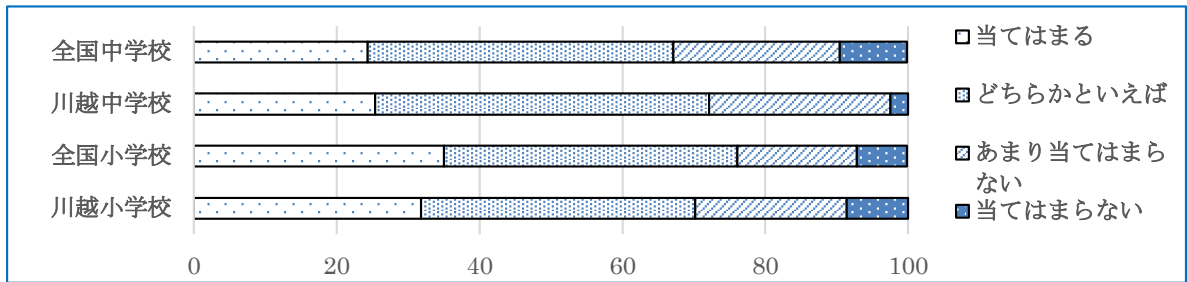
Q：毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



⑤自尊感情

**\*中学生になると、自尊感情を自覚する子が増えてくる。**

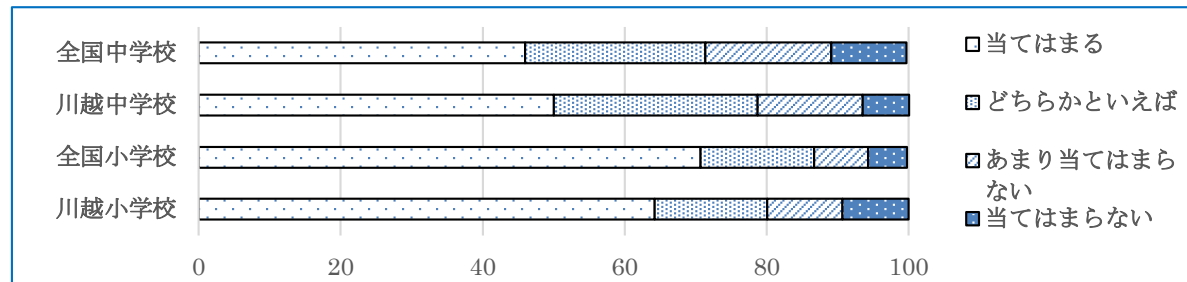
Q：自分には、よいところがあると思いますか。



⑥キャリアの形成

**\*中学生になると、将来の夢や目標を持つことができるようになっている。**

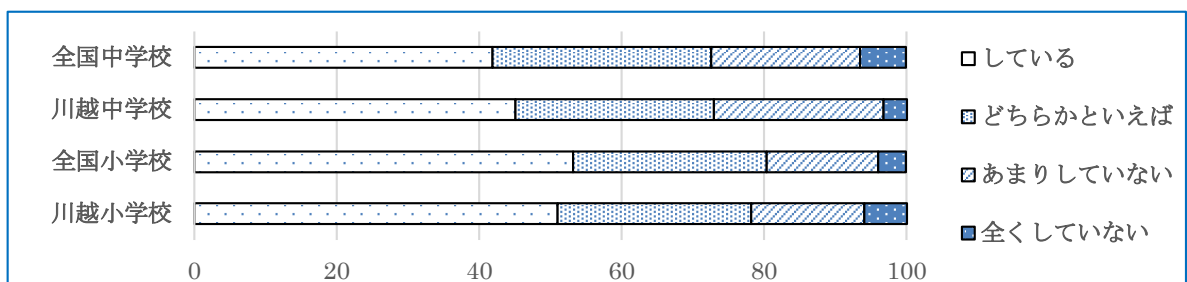
Q：将来の夢や目標を持っていますか。



⑦家庭でのコミュニケーション

**\*小・中学校ともに、家庭で学校生活について話をする事ができている。**

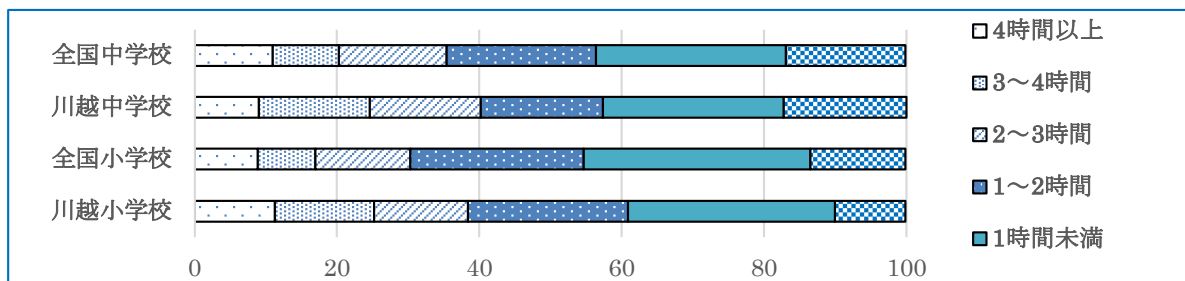
Q：家の人と学校での出来事について話をしていますか。



⑧ゲームの時間

**\*小・中学校ともに、ゲームに費やす時間が、やや多い。**

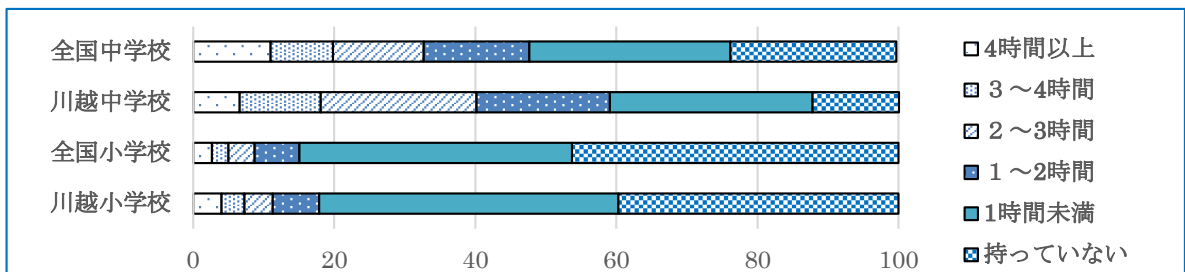
Q：普段（月～金曜日）1日にどれくらいゲーム（PC、スマートフォン等のゲームを含む）をしますか。



### ⑨メール・インターネットの時間

＊小・中学校ともに、メールやインターネットに費やす時間が、やや多い。

Q：普段（月～金曜日）1日にどれくらいメールやインターネットをしますか。



## 2. 教科に関する調査結果から見てくることと対策



### (1) 小学校

#### 国語

- 与えられた文字数や条件に合わせて、書く力に課題がある。
- 初めて向き合う文章に対して、根気よく読んだり考えたりすることが苦手である。
- 複数の必要な情報を関連付けて思考することに慣れていない。

#### 算数

- 基本的な計算や基礎的な作図などの力はあるが、問題を解くために必要な数値や条件を見つけ、これまでに学習した内容と関連付けながら思考することに課題がある。
- 解き方について、必要な言葉や数式を用いながら表現することに慣れていない。

### (2) 中学校

#### 国語

- 文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。

#### 数学

- 身の回りの事柄を数学的に表したり（図形やグラフ）、数学的な表現で説明したりすることに課題がある。
- 学習したことを活用して、問題を解決していこうとする力に課題がある。

### (3) 課題を解決するための手立てや指導改善について

#### 国語

1. 書くことの指導の充実
  - ・マス目を使い、制限字数の中で条件に合った答えを書く練習をする。
2. 語彙を豊かにする指導の工夫

- ・漢字や語句を習得するために、例文やフレーズで覚える学習を数多く取り入れる。
  - ・いろいろな文章や作品に出会わせるために、読み聞かせの機会を充実する。
3. 自分の考えをまとめる活動の充実
- ・国語の時間はもとより、他教科においても毎時間のめあてに対するふり返りの中で、自分の考えをまとめる活動を取り入れる。

#### 算数・数学

1. できる活動の充実
  - ・基礎となる内容をていねいに指導し、定着を図るための活動を取り入れる。
2. わかる活動の充実
  - ・「〇〇であるから、△△である。」の形式で記述させたり発表させたりする。
  - ・言葉や数・式と、図・表・グラフなどを関連付けた授業を取り入れる。
3. 子どもたちが「わかった」「できた」ことが実感できる授業展開
  - ・子どもたちの理解度を測る評価問題などを毎時間おこなう。



### 3. 町教育委員会による学校支援

#### (1) 少人数教育の充実

少人数での指導体制を継続し、国語科および算数・数学科を中心とした基礎的基本的な力の向上を目指します。

#### (2) きめ細やかな指導体制の充実

町非常勤講師や学習支援員の配置を生かした指導のあり方をさらに充実し、一人ひとりの子どもたちが学びやすい環境づくりを進めます。

#### (3) 学力向上推進委員会の設置

川越町学力向上推進委員会を設置し、各学校の取組について情報交換を行い、子どもたちの学ぶ力を伸ばすための授業改善を進めます。また、川越町全体で進める学力向上策について検討します。

#### (4) 校内研修等への訪問指導・支援

指導主事が各校へ訪問し、学力向上に向けた校内研修への指導・支援を拡充します。また、学力の定着を図るための授業のあり方について、教職員に向けた直接指導を進めます。

#### (5) 家庭学習の推進

三重県下で展開されている学力向上県民運動と連動しながら、各校が配付している家庭学習の手引きやシラバスをもとに、「家庭学習の定着に向けた取組の必要性」を各家庭へ呼び掛けていきます。



### 4. 家庭・地域へのお願い

- 家庭学習の大切さについて、各校において指導を重ねています。学校で学んだことを確実に身につけるための復習をする時間や、これから学ぶことについて予習をする時間を意識して設定し、学ぶ習慣をつけていくことが必要とされています。決められた時間に、決められた場所で勉強をする声かけや学習環境整備へのご理解ご協力をお願いいたします。
- 規則正しい生活リズムの確立が、学力向上に深く関連しています。テレビやゲームを楽しむ時間設定や、携帯電話およびスマートフォンを使用する時間や方法などについて、家庭でのルールづくりをしていただきますようお願いします。

